

コロナ下の東京海洋大学附属図書館

Tokyo University of Marine Science and Technology Library with COVID-19

澤木 恵*

はじめに

2019年12月に中国・武漢で発生した新型コロナウイルスによる感染症の感染拡大を防止するため、世界中の大学や図書館で、これまでに前例のない対応に追われている。

本稿では、2020年1月から執筆時点までの東京海洋大学（以下、本学）の対応とそれに伴って行ってきた附属図書館（以下、図書館）、特に品川キャンパス図書館（以下、品川図書館）の対応を振り返る。

1. 東京海洋大学附属図書館とは

1.1 東京海洋大学の概要

本学は、2003年10月1日、東京商船大学と東京水産大学を統合して設置された。2004年4月1日からは国立大学法人東京海洋大学¹⁾となった。国内唯一の海洋系大学として「海を知り、海を守り、海を利用する：Voices from the Ocean」をモットーに²⁾、教育・研究活動を行っている。

キャンパスは2ヶ所、東京都港区に位置する品川キャンパス（旧東京水産大学）に海洋生命科学部と海洋資源環境学部、江東区に位置する越中島キャンパス（旧東京商船大学）に海洋工学部がある。3学部、大学院1研究科、水産専攻科、乗船実習科、研究生等を含めた学生数は約2,800人³⁾である。

1.2 東京海洋大学附属図書館の概要

図書館は両キャンパスに1館ずつ、計2館あり、両館合計で図書約505,600冊と雑誌約12,800種、電子ジャーナル約5,800種を所蔵・提供⁴⁾している。2014年4月に行われた事務組織改編により、学内の情報基盤関係を所掌する情報企画係を総務部より迎え、附属図書館は図書館業務を含めた学術情報業務を総合的に統括する「学術情報課」6係体制に移行⁵⁾した。一つの課に図書系業務を担当する職員（以下、図書系職員）と基盤となる情報システム部門を担当する職員（以下、情報系職員）が属することで、より協働しやすい体制となった。このことは3.4 遠隔授業支援で後述する。

この事務組織改編と同時期に、品川図書館は全面改修工事を経てリニューアルした。改修では、アクティブラーニングスペースを新設し、スペースに隣接した事務室内に、学生や教職員のPCの利用に関する相談に応じる「ICTサポート窓口」を設置した。キャンパスの中心に位置する学生会館（学生食堂）に面した出入口を新たに設置したこともあって、改修後は、授業やゼミ、イベント等に数多く利用されるようになった。個人での座席利用も多く、品川図書館の利用数は2019年度まで年々増加していた。

*東京海洋大学学術情報課情報サービス第一係 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

Megumi SAWAKI, Section of information service, Academic Information Division, Tokyo University of Marine Science and Technology, 4-5-7 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan, 108-8477

ORCID iD: 0000-0001-8210-6121

表1 本学および図書館の対応

	本学の主な対応事項、通知等 (太字は政府発出)	図書館の対応
1月28日	海外渡航時の安全確保に関する注意喚起	
2月6日	新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起 (以後、複数回更新)	
2月28日	3月期学位記・修了証書授与式の中止	
3月2日	・実験・実習施設の利用制限 (～12月31日 (予定)) ・教職員の時差出勤実施 (～12月31日 (予定))	
3月3日		学外者の入館制限
3月4日	学生への登校自粛要請 (以後、複数回延長)	
3月6日		臨時閉館
3月10日	4月期入学式の中止	
3月30日	新型コロナウイルス対策本部設置	
3月30日	「令和2年度前学期におけるオリエンテーションおよび授業等の取扱いについて (通知)」 5月11日から前学期授業開始	
4月1日	令和2年度開始	
4月7日	緊急事態宣言発出	
4月10日	教職員の在宅勤務実施 (～12月31日 (予定))	来館事前予約フォーム設置 (～9月22日)
4月11日		ILL受付停止 (両館)
4月14日	入構制限 (～9月30日)	
4月24日	「令和2年度前学期における授業等の実施方法について (通知)」 前学期授業は原則として遠隔授業で実施	
5月1日		・「遠隔授業ガイド」公開 ・郵送サービス (図書貸出、文献複写物送付) 開始
5月8日	海王祭 (越中島キャンパス学園祭) 中止	
5月11日	前学期授業開始	ILL受付再開 (品川図書館)
5月15日		臨時閉館中のサービスページ公開
5月25日	緊急事態宣言解除	新入生向け図書館利用ガイダンス資料公開
7月17日	・オープンキャンパス (オンライン、～8月7日) ・海鷹祭 (品川キャンパス学園祭) 中止	オープンキャンパスにて「図書館内ツアー」動画公開
9月1日	「令和2年度後学期における授業等の実施方法について (通知)」 後学期 (10月1日～) 授業は、学部は対面授業+遠隔授業、大学院は原則遠隔授業	
9月23日		・サービスを縮小して開館再開 ・ILL受付再開 (越中島図書館)
9月28日	9月期学位記・修了証書授与式 (縮小開催)	
10月1日	学生の登校自粛解除、後学期授業開始	
10月5日	10月期入学式 (縮小開催)	
10月20日	学外者入構制限期間延長 (～12月31日)	

2. 本学の対応（概要）

2020年1月16日、日本国内初の感染者が報告され⁶⁾、国内感染者数が徐々に増加⁷⁾する中、

1月28日には本学でも教職員、学生に向けて、最初の注意喚起⁸⁾が出された。この注意喚起はその後、4月7日の緊急事態宣言発出前まで何度か更新されている。

その後も様々な通知、注意喚起、情報が頻繁に更新され、感染拡大防止のための対策が講じられた。具体的には、入構制限、学生への登校や課外活動の自粛要請、学生寮への入寮日延期、海外渡航の自粛、海外からの留学生の受け入れ延期、学内行事やイベントの中止・規模縮小、遠隔授業の実施、図書館を含む学内施設の学外者への貸出・利用停止、オープンキャンパスのオンライン開催等である（表1）。

並行して、教職員の出勤体制については、まず3月2日に時差出勤の実施が開始され、4月10日より在宅勤務が認められるようになった⁹⁾。

3. 図書館の対応

3.1 学内施設の利用制限

3月2日から本学でも実験・実習施設の利用制限¹⁰⁾が始まり、図書館でも本学の対応に基づいて学外者に対する入館制限を開始¹¹⁾し、本稿執筆時点でも継続¹²⁾して実施している。なお、当館では従来、春休み期間の夜間・土曜日は開館しておらず¹³⁾、この時点で既に春休みであったため、開館時間の短縮などの措置は行わなかった。

3.2 臨時閉館

次いで、学生に対し、3月3日付で課外活動自粛¹⁴⁾が、3月4日付で登校自粛¹⁵⁾が要請された。これらの措置に準じて、図書館も3月6日から臨時閉館¹⁶⁾することを決定し、3月5日付で図書館ホームページ（以下、HP）上にお知らせを出した。当初は登校自粛要請期間に合わせて3月15日までの短期閉館を予定していたが、その後の登校自粛要請の延長に伴って閉館期間を延長し、最終的には9月22日まで続いた。

これにより、図書館で計画していたイベントや活動も、中止を余儀なくされた。例えば、3月下旬に品川図書館で開催予定だった一箱古本

市（図書のリサイクル市¹⁷⁾の実施を断念した。また、例年地域貢献の一環として受け入れていた中高生の職場体験・インターンシップ等の受入も断らざるを得ない状況となった。

3.3 図書館サービスの変更

一方、緊急事態宣言発出後、4月10日から教職員の在宅勤務が推奨されて出勤者が減り、3月の臨時閉館後も学内者や他機関に対して続けていたサービスの維持が難しくなった。そのため、両館ともに他機関からのILL申込の受付を4月11日に一旦停止した。また、学内者に対しては教育研究上必要な資料、受取資料等がある場合に限り、図書館HP内に設置した予約フォームによる事前予約のうえ来館を受け付け¹⁸⁾することとした。なお、品川図書館については、職員の出勤状況を考慮してILLの受付停止を解除し、5月11日から9月30日まで、毎週金～月曜日（週4日）のみ他機関からの申込を受け付けた。

図書の貸出については、登校自粛要請期間の延長に合わせて返却期限日も延長し、最終的に後学期授業開始後（10月15日）まで延長した。また、通常は行なっていない郵送による返却を認めるとともに、臨時閉館期間に限り貸出冊数を無制限（通常は10冊）にするなど、可能な限り貸出条件を緩和した。

3.4 遠隔授業支援

本学では3月30日に、前学期授業の開始日を5月11日とすることを決定していた。その後、緊急事態宣言の対象地域拡大と国内の感染状況を鑑みて、前学期中の授業等については、原則としてオンデマンド方式の遠隔授業として実施することを4月24日に学生向けに通知¹⁹⁾した。なお、オンデマンド方式とは、テレビ会議システム等を用いてリアルタイムに双方向のやりとりを行う講義（リアルタイム方式の遠隔授業）に対して、事前に配布した教材（Microsoft PowerPoint ファイルやPDF ファイル、動画など）や教科書などと課題提出、掲示板等を活用した質疑応答を組み合わせた講義をさす。

この通知に先んじて、情報企画係は、教育担当理事の指示のもと、学務部教務課（以下、教

務課)と協力し、4月上旬には学内(教職員)限定のWebページ内に遠隔授業(オンライン授業)の実施方法の概要をまとめたページを作成・公開していた。しかし、本学には遠隔授業の実績がほとんどなく、遠隔授業の実現に向けて、より詳細な情報を、教員だけでなく学生に向けても提供する必要があった。加えて、キャンパスへの入構制限が行われている中での情報の提供にあたっては、学外からもアクセスしやすい場所にページを作成することが求められていた。そこで、教務課と情報共有を密にしつつ、図書系職員と情報系職員とで分担して当初のページの内容を拡充した。その後、学外からのVPN接続を必要とすることなくアクセスでき、また、教員や学生が学習研究活動において日常的に利用する図書館HP内に「遠隔授業(オンライン授業)ガイド」として5月1日に公開²⁰⁾した。ガイドの構成は、以下の通りである。

- 学生向け
 - 授業の受講方法(日本語・英語)
 - 遠隔授業に用いるツールについて(日本語・英語)
 - FAQ(日本語)
- 教員向け
 - 授業の実施方法(日本語)
 - 遠隔授業に用いるツールについて(日本語)

「遠隔授業に用いるツールについて」では、Cisco Webex や Microsoft Teams など、学務システムのほかに本学で利用を推奨しているツールについて、教員と学生のそれぞれの立場からの利用を想定したマニュアルを掲載している。特に学生向けについては、留学生が遠隔授業を受講できないといったことのないよう、英語での説明も用意した。現在も引き続き、教務課とも連携しつつ、情報系職員と図書系職員とが協力してこのページの管理を行い、随時拡充・更新している。

3.5 郵送サービスの実施

遠隔授業開始を前に、図書館では5月1日から図書の郵送貸出および文献複写物の郵送サービスを開始²¹⁾した。saveMLAKが公開している国立大学図書館の開閉館状況調査結果によると、

5月3日時点で同様の郵送サービスを実施していたのは当館を含め86大学中7大学のみであった²²⁾ので、比較的早期に開始したといえる。当初は回数の制限なく図書館が費用負担するとしてサービスを開始したが、予算の都合もあり、6月1日より1人2回までと回数制限を設定した。6月24日にカーリルのレターパックプロジェクト²³⁾に応募し、7月1日よりこのレターパックも活用²⁴⁾して9月30日までサービスを行った。両館合計で、図書貸出はのべ129件、文献複写物はのべ39件の利用があった。

3.6 閉館中のサービスページを作成

閉館中のサービス内容とその変更については随時図書館HPのお知らせに記載していたが、その情報を見つけにくいという問題点があった。そこで、臨時閉館中の図書館サービスを一覧化して、利用対象者別の利用可能サービス早見表を追加したページを別途作成した。9月23日のサービス再開後も現在のサービス状況をまとめたページ²⁵⁾として、引き続き運用している。ページの構成は、以下の通りである。

- 利用可能サービスの早見表
- 来館利用の説明
- 資料利用に関する説明
 - 貸出・返却
 - 郵送サービス(5/1-9/30)
 - ILL
- 電子リソースの説明
 - 契約電子リソース
 - COVID-19対応で利用範囲の拡大されたもの
 - 機関リポジトリ
 - デジタル・アーカイブ
- 問合せフォームへの案内

このページを作成したものの、電話やフォームによる学外者からの問合せ件数は例年に比べて多く、外部からは臨時閉館やサービスを縮小していることがわかりづらいようであった。

3.7 新入生向けガイダンスの開催

例年、品川キャンパスでは4月の入学式前日に実施される学内オリエンテーションの際に、

越中島キャンパスでは4～5月にかけて学生の都合に合わせて、図書館ツアーを開催していた。また、オリエンテーションでの全体説明や、各学部で必修となっている情報リテラシーの1コマを使って、図書館の利用方法や文献検索の基礎を授業していた。

今年度は、前学期日程の遠隔授業実施が確定した時点で一部の情報リテラシーの担当教員から問い合わせがあったこと、他大学でのガイダンスウェビナー開催の動きもあったことから、当館でも新生向けのガイダンス資料を図書館HP上で公開²⁶⁾することとした。例年行っていた各種説明、授業の資料が両館で異なっていたため、どの学科の学生が受講しても困らないよう、新生全員が一律で同じ資料を使えるように内容を整理・統合し、以下の3編で構成した。

- 本編：本学OPACの使用法を含めた基礎的な検索演習と課題
- 補足1：本編で紹介しなかったDB等の紹介
- 補足2：物理的な図書館の利用方法

課題については、本学で法人契約しているMicrosoft365で提供されているフォーム機能を利用し、例年の授業時と同様に課題提出を求めた。最終的に全学科の新生の受講があり、結果を各学科の担当教員と共有した。また、課題と併せて記入のあった意見や感想をQ&Aとしてまとめ、解答解説とともにガイダンスのページにて公開している。

このガイダンスは、学部新生よりも上級の学年、特に図書館利用経験に乏しい学生に対しても有用なのではないか、ということから、引き続き、図書館HPに掲載している。

3.8 オープンキャンパスのオンライン開催

本学では例年7～8月と10月にオープンキャンパスを両キャンパスで実施しているが、今年ではどちらもオンラインでの開催²⁷⁾となった。例年は図書館もオープンキャンパスの際には休日であっても開館し、模擬授業などのために会場を提供、館内の自由見学を可能とし、希望者に応じて図書館ツアーを実施していた。しかし、今年ではどちらもできないため、急遽各館内を紹介する動画を作成し、公開することとした。開

催後に学務部入試課より共有された視聴者数集計によると、参加登録者数936人に対して、両キャンパス図書館の館内ツアー視聴者数は計127人であった。

また、前述の新生ガイダンスにおいて、「図書館を実際に見たことがないので、どこにどのような本がおいてあるのかわからず不安です。」「図書館の学習スペースはどのくらいありますか？」などの要望や質問が複数の学生から寄せられていた²⁸⁾ため、オープンキャンパスの際に作成した動画をオープンキャンパス終了後も図書館HP経由でも公開²⁹⁾し、両館合計で730回³⁰⁾の再生があった。

4. 開館再開にむけて

4.1 入構制限の緩和

5月25日に発出された緊急事態解除宣言³¹⁾を受け、5月27日には本学でも今後の入構制限緩和スケジュール案を盛り込んだ学長メッセージ³²⁾を公表した。以後、このメッセージとともに公表した「〈別紙〉今後のスケジュール(予定)」は感染状況の推移に応じて改定され、本稿執筆時点では10月19日改定版¹⁾を最新のスケジュールとして公表している。

当初示されたスケジュールでは、段階的に制限を緩和して10月1日より通常通りの活動を行うことを前提としていたため、図書館も短縮開館から通常通りの開館へと段階的に移行することを想定していた。しかし、スケジュールが改定されるごとに制限の緩和が当初と比べて小さなものとなり、図書館の開館再開スケジュールもそれに合わせて修正を行うこととなった。最終的には9月30日まで入構制限を継続、9月1日付で10月1日以降は対面授業と遠隔授業を併用しての後学期授業開始と通知³³⁾されたため、図書館は後学期授業再開の直前、9月23日より学内者に限って開館を再開し、以降の開館予定については1ヶ月ごとに入構制限の状況に合わせて決定することとした。

4.2 一部サービスの再開と現状

前述したとおり、9月23日より、図書館は本学の学外者入構制限に準拠し、学内者に限ってサービスを再開²⁵⁾している。国内および都内の

感染状況の経過に応じた本学の対応に基づき、本稿執筆時点では、11月末までは10:00-17:00と、例年の長期休業中に比べても短い時間での開館を予定している。また、学生によっては遠隔授業実施により週に1日程度しか登校しない、という事情も考慮して、貸出期間を通常の2週間から4週間に延長した。

4.3 サービス提供実態

図書館の利用は、学生の登校頻度の問題と、両館ともに使用可能な座席数を1/2~1/3程度に減らしていることから、来館者数、貸出件数ともに例年同時期と比べて4割弱に留まっている(図1)。

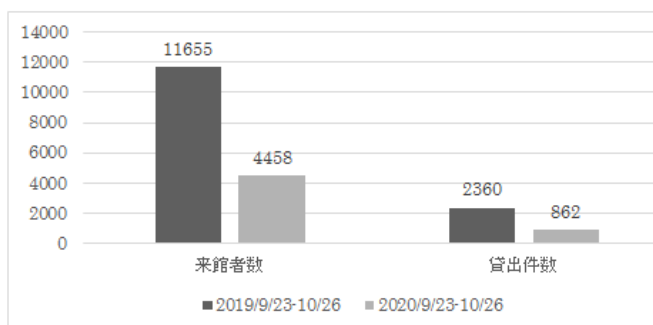


図1 開館再開後と前年同時期の図書館利用(両館)

世界中の大学等で入構制限がかかったことから、特に今年前半は公開範囲や利用条件の緩和された電子リソースが多かった。そのため、図書館でも、臨時閉館中であることから、例年と比べて利用が増加することを期待していた。しかし、2020年度上半期の本学の利用統計は、例年と同様の推移を示しているものの、総数としては例年よりも明らかに少ない件数に留まっている(図2)。これには、例年4月から5月にかけて両館で開催している文献検索ガイダンス^{34, 35)}を、入構制限および臨時閉館により開催できなかったことが影響していると考えられる。このことは、非来館サービスについても、リアルな利用経験と連動することを示唆している。

文献検索ガイダンスは、各研究室の新しいメンバー、主に学部4年生や大学院修士課程1年生を対象として、図書館および本学契約データベースを用いて自身の研究に必要な文献を検索

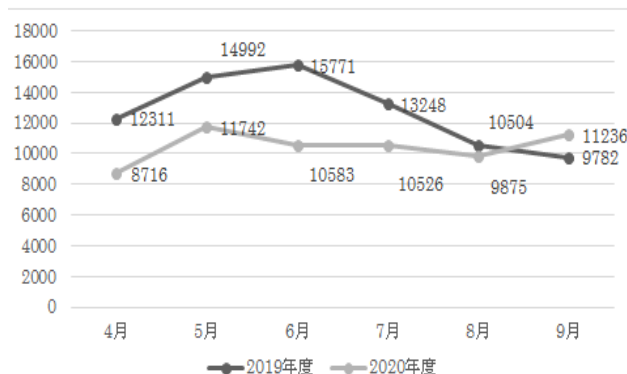


図2 2019年度および2020年度上半期の電子リソース利用

できるようになることを目標として実施している。このガイダンスでは実際に自身の研究テーマに即した検索を行い、電子ジャーナルによる文献入手と、書庫から冊子体の資料を書庫から目的の資料を探す演習も組み合わせている。今年度は急遽図書館HP上で資料を公開したものの、ソーシャルディスタンスを保つための開催が難しいことから、開館再開後も案内を出すことができず、問合せのあった5名に対して開催したのみに留まっている。

デジタル・アーカイブを含めた図書館HP内のコンテンツ利用については、全体のアクセス数以外を測ることができていないため、ページ、コンテンツ毎の利用の推移が把握できていない。これについては今後、改善の必要があると考えられる。

5. 今後の課題

新型コロナウイルス感染症の流行という、前例のない事態の中で、図書館では、できうる限りのサービスの維持を考えて対応してきた。「ウィズコロナ」という言葉が聞かれることも増えたが、本学も今後、新しい生活様式に合わせた授業形態や教職員の出勤体制に移行することが想定される。図書館でも、それらに寄り添ったハイブリッドなサービスを展開していかなければならないと考えている。そのためには、オンラインで実施・公開可能なサービスはオンラインで提供する、既存のコンテンツも広報・周知を強化するなど工夫してユーザーに届くようにする、電子リソースを拡充するなど、課題は多

い。

たとえば、これまで当館で開催してきたガイダンスや展示は、ほとんどが対面を要するものだった。今後は可能な限りオンラインでも開催できるようにしていきたいが、一方で、すべてをそのままオンラインに移行することは難しいため、柔軟に考えていく必要がある。まだ具体的な検討はできていないが、特に文献検索ガイダンスについては対面・オンラインのどちらでも開催できるよう、実施方法を考えていかなければならない。

また、本学で契約している電子リソースのうち、電子書籍はほとんどが洋書で、学部生でも利用しやすい和書、特に本学と関連の深い分野である水産や船舶に関連したものが少ない。なかでも船舶関連分野については、和書の電子書籍の出版点数、選択肢がそもそも限られている。今後は、新しい生活様式の一環として、対面と遠隔授業のハイブリッド形態による授業実施が主になることを想定し、限られた選択肢のなかから本学の利用者のニーズに適した電子書籍を選択・充実させていく必要がある。

さらに、電子リソースについては、物理的な媒体がなく、ブラウジングするにもOPACや専用のページにアクセスして検索する必要があるため、存在を知らないまま卒業してしまう学生もいる可能性がある。そのため、本学でどのような電子リソースを利用できるのか、オフラインでも定期的に周知・広報していく必要がある。

いままでの対面授業では、教室に職員が出張することは難しかった。しかし、遠隔授業として配信されている授業であれば、たとえば数枚のスライドを紹介してもらいなどの方法で、受講学生と図書館をつなぐような新しい「出前」の形も考えられるのではないかと。感染しない・させないようにと気を張り続ける生活には苦しいものもあるが、新しいサービスを提供する機会と捉えて、開拓していきたい。

参考資料

1. 「沿革」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/organization/history.html> (2020年10月14日参照)
2. 「平成31年度4月期東京海洋大学入学式における学長式辞」
https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/president/oration/2019/30_2.html (2020年10月28日参照)
3. 「DATA」
<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/organization/factbook/> (2020年10月14日参照)
4. 「附属図書館蔵書等」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/organization/statistics/bibliotheca.html> (2020年10月14日参照)
5. 「図書館の歩み」東京海洋大学附属図書館
<https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/library/enkaku.html> (2020年10月14日参照)
6. 「中国 武漢の肺炎 国内で初確認 武漢に渡航した男性から 厚労省」Wayback Machine (日本放送協会 (16 January 2020))
<https://web.archive.org/web/20200116132336/https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200116/k10012247361000.html> (2020年10月14日参照)
7. 「国内の発生状況など」厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html> (2020年10月14日参照)
8. 「海外渡航時の安全確保に関する注意喚起 (2020年1月27日更新)」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/topics/img/6c650a1023d084366ffdd42ae2106884.pdf> (2020年10月14日参照)
9. 「教職員(非常勤教職員を含み、裁量労働制適用教員を除く)の在宅勤務の実施について(期間再延長)(令和2年9月16日更新)」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/img/b0678a985fdb50962e5015f592a442b.pdf> (2020年10月14日参照)
10. 「新型コロナウイルス感染症に伴う各ステーションの利用制限について(2020/03/02)」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/topics/students/202003021720.html> (2020年10月14日参照)

11. 「2020/03/02 [共通]新型コロナウイルス感染防止について」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/jopdqsh9a-2333/#_2333 (2020年10月14日参照)
12. 「2020/09/16 [共通][J]9/23より開館します：一部サービス再開のお知らせ」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/jorz91p5i-2317/#_2317 (2020年10月14日参照)
13. 当館では通常、授業期間中、試験期間中、長期休業中の大まかに分けて3パターンの開館日・時間を設定している。詳細：「利用案内」東京海洋大学附属図書館
<https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/riyouannai/> (2020年10月14日参照)
14. 「課外活動の自粛について（要請）第3報【期間延長：2回目】」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/topics/img/bfe495c919c6f9789c9bd99b13afdf8c.pdf> (2020年10月14日参照)
15. 「登校自粛について（要請）第2報【期間延長】」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/topics/img/d84cc985865ee752ddfe3889fedf4bca.pdf> (2020年10月14日参照)
16. 「2020/03/05 [共通]■緊急■3/6-3/15 臨時閉館いたします」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/jol9wbwts-2333/#_2333 (2020年10月14日参照)
17. 「2020/03/04 [品川]■延期■一箱古本市開催のお知らせ」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/joq61p3fg-2333/#_2333 (2020年10月14日参照)
18. 「2020/08/03 [共通][J/E]臨時閉館中のサービス対応 / Library response to COVID-19」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/jo31yevwd-2317/#_2317 (2020年10月14日参照)
19. 「令和2年度前学期における授業等の実施方法について」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/student/Online/information/202004241643.html> (2020年10月14日参照)
20. 「遠隔授業（オンライン授業）ガイド」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/online_lecture/ (2020年10月14日参照)
21. 「2020/08/03 [共通][J]臨時閉館中の図書貸出、コピー郵送サービス」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/jox2elnmz-2317/#_2317 (2020年10月14日参照)
22. 「covid-19-survey」saveMLAK
<https://savemlak.jp/wiki/covid-19-survey> (2020年10月14日参照)
23. 「カーリルの新しいフライヤー&レターパックプロジェクト」
<https://blog.calil.jp/2020/06/flyer.html> (2020年10月14日参照)
24. 東京海洋大学附属図書館「カーリルのレターパックプロジェクトで、レターパックを送っていただきました！…」Twitter
https://twitter.com/tumsat_library/status/1278162354492997633 (2020年10月14日参照)
25. 「現在のサービス状況」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/off_campus_service/ (2020年10月14日参照)
26. 「図書館利用ガイダンス（2020年度前学期・新入生向け）」東京海洋大学附属図書館.
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/use_guide_j/#freshman (2020年10月16日参照)
27. 「2020年度オープンキャンパス開催について」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/university/examination/opencampus/202009100900.html> (2020年10月15日参照)
28. 「『2020新入生向け図書館ガイダンス』Q&A」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/library/online_lecture/2020lib-guidance-qa.pdf (2020年10月16日参照)
29. 「館内ツアー動画 - 図書館利用ガイダンス」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/use_guide_j/ (2020年10月15日参照)
30. 2020年10月16日現在の再生回数（7-8月

に行われたオープンキャンパスからの累

31. 「新型コロナウイルス感染症緊急事態解除宣言（令和2年5月25日発出）」
https://corona.go.jp/news/pdf/kinkyujita_isengen_gaiyou0525.pdf（2020年10月15日参照）
32. 「学長からのメッセージ【学生及び教職員の皆さんへ（第3報）】（令和2年5月27日）」
東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/president/3.html>（2020年10月15日参照）
33. 「令和2年度後学期における授業等の実施方法について」東京海洋大学
<https://www.kaiyodai.ac.jp/topics/img/5fd11daa11c27348a6db182b35ab4a8e.pdf>（2020年10月16日参照）
34. 「【新ゼミ生のための文献検索ガイダンス】のご案内」東京海洋大学附属図書館.
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/use_guide_j/guidance_sinagawa/（2020年10月17日参照）
35. 「卒論・課題からレポートまで、文献の探し方をお教えします！！」東京海洋大学附属図書館
https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/use_guide_j/advice_echujima/（2020年10月17日参照）